

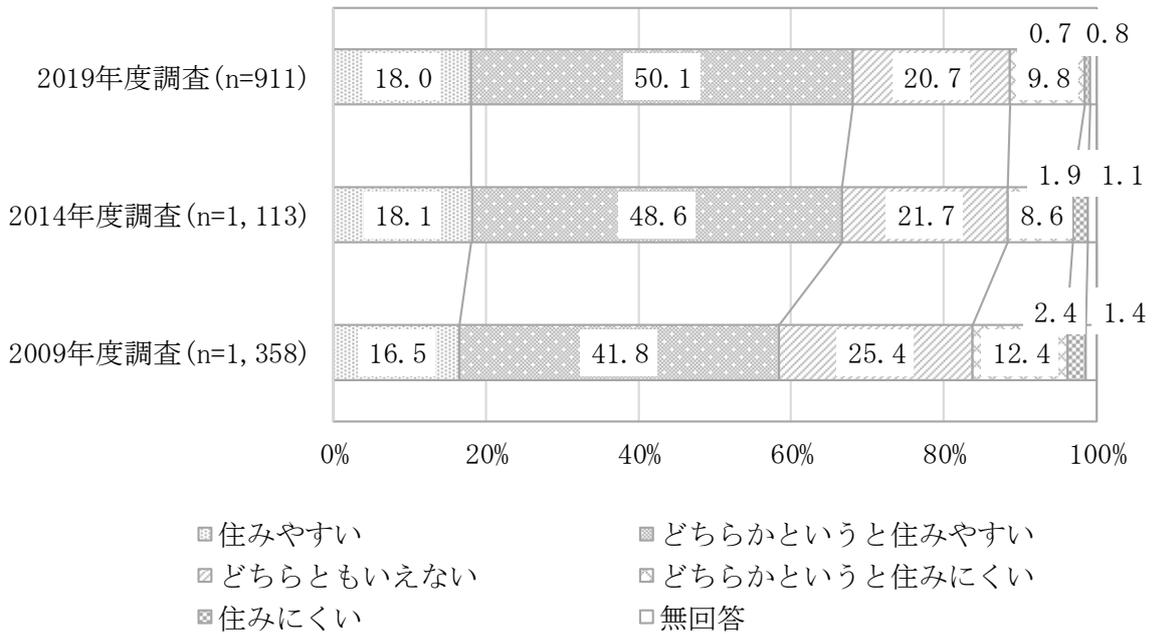
第 14 回住民意識調査 「住みやすさ」 分析

1 住みやすさ

白井市の住みやすさについては、「住みやすい」(18.0%)と「どちらかというに住みやすい」(50.1%)を合わせた、白井市に住みやすさを感じている人は、7割弱となっている。

過去の調査と比較すると、白井市に住みやすさを感じている人の割合は増加傾向にある。

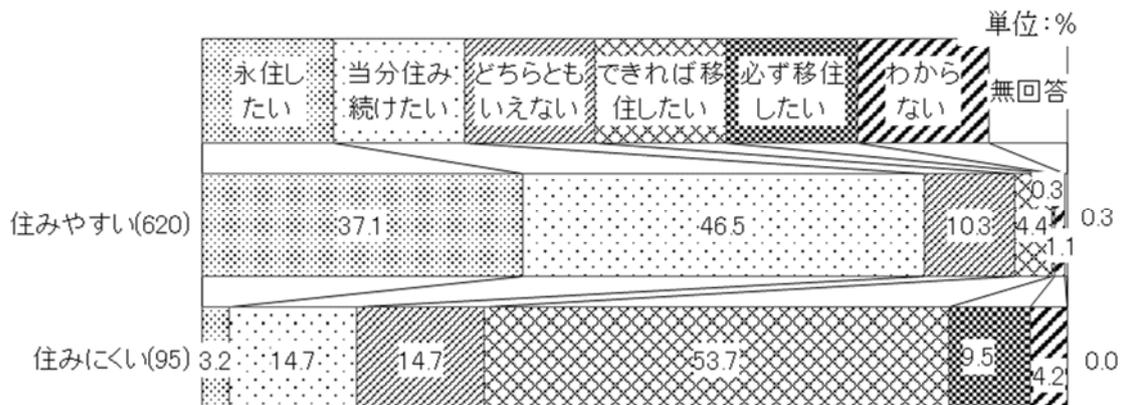
【問】あなたは、白井市の住みやすさについてどう思いますか。



2 クロス集計【住みやすさ×定住意向】

白井市に住みやすさを感じている人のうち、8割強の人は定住意向を持っている。一方で、白井市に住みにくいと感じている人のうち、6割強の人は移住したい意向を持っている。

【問】あなたは、これからずっと白井市に住み続けたいと思いますか。



### 3 クロス集計【住みやすさ×市の取組への満足度】

集計の結果、パターンAのように住みやすさと満足度が関連するものと、パターンBのように両者が必ずしも関連しないものがある。

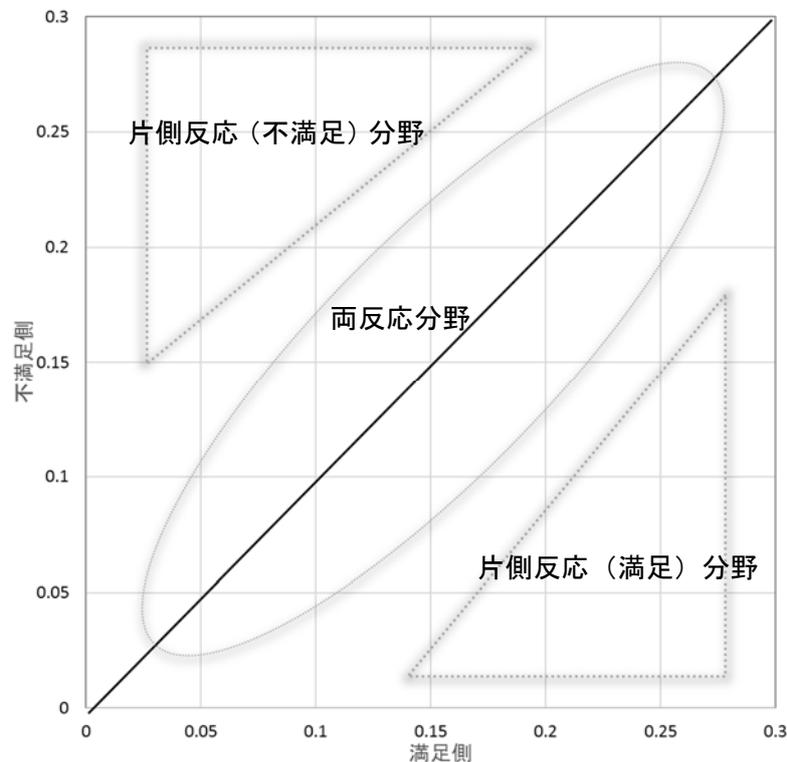
【パターンA】

	住みやすい	どちらでもない	住みにくい
満足	110	15	10
普通	10	80	10
不満足	20	20	25

【パターンB】

	住みやすい	どちらでもない	住みにくい
満足	15	10	5
普通	35	55	10
不満足	60	55	55

このため、両者の関連を定量化するため、『満足とそれ以外』、『不満足とそれ以外』の2種類を住みやすさとクロス集計し、住みやすさと満足度の関連を係数化（クラメル連関係数）すると、次の3分野に分類される。



#### 片側反応（満足）分野

右下方に位置する分野で、「満足」と評価した場合には「住みやすい」の評価につながるが、「不満足」と評価しても「住みにくい」の評価にはつながらない。

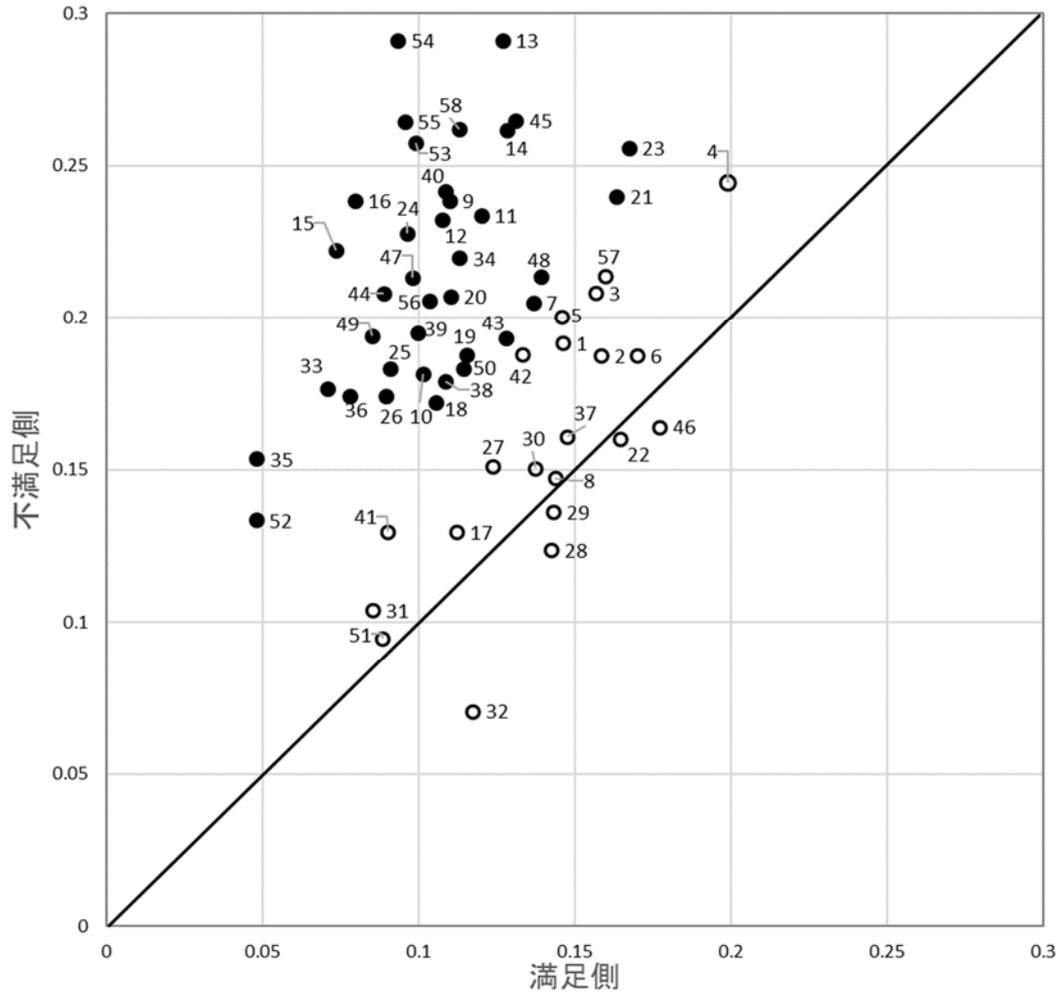
#### 片側反応（不満足）分野

左上方に位置する分野で、「不満足」と評価した場合には「住みにくい」の評価につながるが、「満足」と評価しても「住みやすい」の評価にはつながらない。

#### 両反応分野

45度線付近に位置する分野で、「満足」と評価した場合には「住みやすい」の評価に、「不満足」と評価した場合には「住みにくい」の評価につながる。

※原点に近いほど住みやすさと満足度の関連性は薄い。



子育て	1	子どもの医療費助成など子育て支援	産業振興	31	多様な形態の農業経営と担い手の支援	
	2	保育園の整備など子育ての環境づくり		32	農業体験など農業・農村交流の推進	
	3	障がい児への療育の支援		33	商店街や工業団地などの活性化の支援	
	4	児童や青少年の健全育成		34	企業誘致の推進	
教育	5	小・中学校での教育・指導内容	自然環境・生活環境	35	就労希望者への雇用対策	
	6	学校施設の整備・安全対策		36	消費者被害の防止など消費者保護の推進	
	7	地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり		37	自然環境の保全	
防災・防犯	8	小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進		38	市民の森など自然とふれあう場の提供	
	9	地震・台風などに備えた防災対策		39	環境学習や環境美化活動の推進	
福祉	10	火災に対する消防体制や緊急時の救急体制		40	騒音・振動・悪臭などの公害対策	
	11	交通安全対策や防犯対策		41	不法投棄防止対策	
	12	障がい者への福祉サービス		42	ゴミの減量とリサイクルの推進	
	13	高齢者への福祉サービス		43	ゴミの収集と処理の推進	
	14	保健や福祉の相談窓口機能の充実		44	地球温暖化防止対策	
	15	バリアフリーの環境づくり		45	計画的な土地利用・開発	
	16	独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援		46	公園の整備	
人権	17	差別、偏見、虐待などを防止する人権対策		住環境・生活基盤	47	地域の特性を生かした景観づくり
	18	男女共同参画社会づくり			48	道路の整備
	19	国際交流など国際化の推進	49		橋梁や河川の整備	
	20	平和意識の啓発や平和教育の推進	50		上・下水道の整備	
健康・保健・医療	21	健康づくりの推進	51		斎場や墓園の整備	
	22	乳幼児健診など母子の健康対策	52		鉄道の運賃問題対策	
	23	がん検診など病気の予防対策	53		路線バスや循環バスの利便性向上の取組	
	24	休日・夜間や緊急時の医療体制	行財政・市民参加・協働		54	人材育成など市民自治の仕組みづくり
市民活動	25	地区コミュニティの活性化の支援			55	行政評価など効率的な行政運営の推進
	26	公益的市民活動団体などへの支援			56	健全な財政運営の推進
生涯学習	27	各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援		57	情報公開や広報・PR活動の取組	
	28	スポーツ活動の推進	58	市民参加・協働の取組		
	29	文化・芸術活動の推進				
	30	歴史・文化財の保存と活用				

市の58の取組のうち、片側反応（満足）分野に該当する取組は見られない。  
 以下の21項目は両反応分野に近く、それ以外の取組は片側反応（不満足）分野に近い。

分野	No	取組
子育て	1	子どもの医療費助成など子育て支援
	2	保育園の整備など子育ての環境づくり
	3	障がい児への療育の支援
	4	児童や青少年の健全育成
教育	5	小・中学校での教育・指導内容
	6	学校施設の整備・安全対策
人権	17	差別、偏見、虐待などを防止する人権対策
健康・保健・医療	22	乳幼児健診など母子の健康対策
自然環境・生活環境	37	自然環境の保全
	42	ゴミの減量とリサイクルの推進
住環境・生活基盤	46	公園の整備
行財政	57	情報公開や広報・PR活動の取組
教育	8	小学校へのスムーズな就学のための幼児教育の推進
生涯学習	27	各センターでの講座開催など生涯学習活動の支援
	28	スポーツ活動の推進
	29	文化・芸術活動の推進
	30	歴史・文化財の保存と活用
産業振興	31	多様な形態の農業経営と担い手の支援
	32	農業体験など農業・農村交流の推進
自然環境・生活環境	41	不法投棄防止対策
住環境・生活基盤	51	斎場や墓園の整備

↓  
 原点に近く、住みやすさとの関係は薄い。

#### 4 クロス集計【住みやすさ×地域課題の解決】

住みやすさと地域課題の解決に関する設問をクロス集計すると、白井市に住みやすさを感じている人は、住みにくいと感じている人に比べて、地域住民が協力して地域の課題の解決に取り組んでいると思う割合が高い。

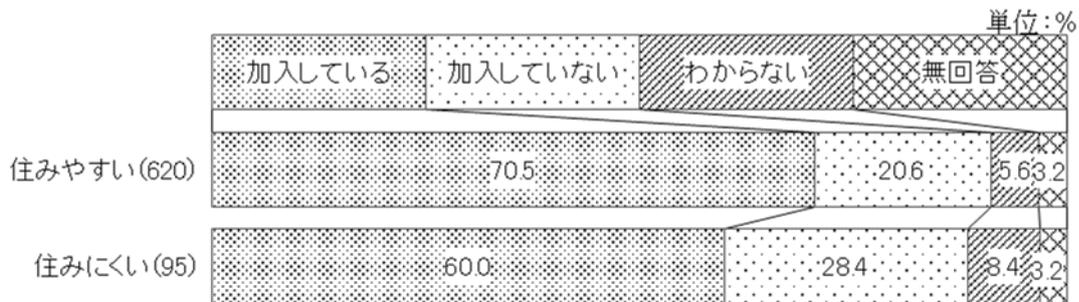
【問】あなたのお住いの地域では、防災、防犯、福祉など、地域の課題に対して、地域の住民が協力して解決に取り組んでいると思いますか。



#### 5 クロス集計【住みやすさ×自治会加入】

住みやすさと自治会加入に関する設問をクロス集計すると、白井市に住みやすさを感じている人は、住みにくいと感じている人に比べて、自治会に加入している割合が高い。

【問】あなたは自治会（区・町会を含む）に加入していますか。



## 6 クロス集計【住みやすさ×将来のまちづくりの方向性】

住みやすさと将来のまちづくりの方向性に関する設問をクロス集計すると、白井市に住みやすさを感じている人は、住みにくいと感じている人に比べて、「鉄道やバス交通が充実したまち」や「駅前などに商業施設などが数多く立地するまち」など利便性に関する割合が低くなっている。

一方で、「ゆとりある住宅地が広がる住環境のよいまち」や「自然環境や農地などのみどりを大切にするまち」など、住環境・自然環境に関する割合が高くなっている。

【問】あなたは、市が将来どのようなまちを目指していくべきだと思いますか。

